

第49回 土木情報学シンポジウム プログラム



2024年9月26日 (木)

第1会場	第2会場
9:45 - 10:00 開会挨拶 安井 勝俊 (土木情報学委員会 委員長)	
10:00 - 11:25 I-1 AI/データ分析① 座長: 吉田 敬宏 (大日本ダイヤコンサルタント) ウィービング区間におけるETC2.0プローブ情報の走行車線推定の補正に関する考察 ○岡本遼太・今井龍一(法政大学)、中村健二(大阪経済大学) 廉価なLiDARの動的な点群データを用いた自動車の検出精度に関する考察 ○小橋幸貴・今井龍一(法政大学)、山本雄平(関西大学) LiDARを用いた交差点における通行車両観測の検出精度に関する研究 ○堀江良一(岡谷エレクトロニクス)、梶田佳孝(東海大学)、石川ひとみ(四電技術コンサルタント) 自動車運転者の異常運転検知手法の閾値決定に関する検討 ○宮内弘太(計量計画研究所)、高田和幸(東京電機大学) 自然言語処理技術を用いた電気通信設備の状態判定に関する試行検証 ○菅田大輔・津島博志・箱石健太(日本工営)	10:00 - 11:25 II-1 GNSS 座長: 新居 和展 (サイテックジャパン) MMSのトンネル走行時におけるGNSS/IMUの測位安定度に関する研究 ○加藤創大(日本大学)、山口裕哉・岡本直樹(朝日航洋) QZSSのCLASにおける再初期化後の点検方法に関する検討 ○飯塚洸貴・佐田達典(日本大学) MMSにおけるGNSSの組合せが直線部と旋回部の点群に及ぼす影響の検証 ○高橋秀昌(日本大学)、山口裕哉・岡本直樹(朝日航洋) GNSS受信機と車速センサを備えた地中レーダによる埋設管と空洞の位置検出の精度評価 ○佐田達典(日本大学)、山口裕哉・岡本直樹(朝日航洋) Lidar SLAM装置を搭載した車両の走行速度が自己位置推定精度に及ぼす影響評価 ○佐田達典(日本大学)、山口裕哉・岡本直樹(朝日航洋)
12:30 - 13:55 I-2 AI/データ分析② 座長: 石井 喬之 (大成建設) 階層ベイズモデルを用いた多変量液状化パラメータの事例ベース推定法 ○堀越優侑・齊藤大雅(東北大学) Unet系モデルおよびスライド分割手法を用いた土砂移動部検出器の性能比較に関する研究 ○小田真・劉曉松・河村圭(山口大学) レーダ雨量計データを用いた機械学習による降水量推定に関する研究 ○外山諒・朝岡良浩(日本大学)、中村健二(大阪経済大学) 物理情報と連携可能な生成AIを活用した洪水予測システムの構築 ○木村延明(農研機構) Transformer技術を活用した地すべり地形抽出手法の検討 ○筒井駿吾・角田里美・高山陶子(アジア航測)	12:30 - 13:40 II-2 GIS 座長: 平井 秀明 (リコー) 都市部における局所人口の空間分布特性の分析 ○卯田航平・熊谷樹一郎・白石彩乃(摂南大学) 令和6年能登半島地震の強震による災害廃棄物の量・組成・空間分布の予測 ○丸山結貴弥・田内裕人・江種伸之(和歌山大学) xROADを主軸とした複数データ重畳型3Dデジタルプラットフォームの開発 ○森田大成(大日本ダイヤコンサルタント) 斐伊川流域の3D データを用いた河川構造物のリスク評価手法の提案について ○福田明文(パスコ)、西山哲・吉田圭介(岡山大学)
14:10 - 15:35 I-3 計測/センシング 座長: 石田 仁 (五洋建設) 低コストMMSを用いた道路積雪深の計測に関する検討 ○小林桃子・中村健(長岡技術科学大学)、Myagmardulam Bilguunmaa(富山県立大学) 急崖地を対象とした新たな標定点設置方法による3次元地形情報の取得 ○吉田健人・桑原祐史(茨城大学) 自律航行船舶を用いたナローマルチビーム測深とCUBEアルゴリズムの有用性の検証 ○田中浩二(セトウチ)、西山哲(岡山大学) 局所的な微地形の調査に対する基盤地図情報1mメッシュ(標高)データの有効性の検討 ○門馬英一(モンマ)、羽柴秀樹・園部雅史(日本大学) LiDAR機能搭載型タブレットによる雪面形状の計測に関する検討 ○高橋浩司・坂下ひなの(構研エンジニアリング)、白川龍生(北見工業大学)	14:10 - 15:35 II-3 情報化施工 座長: 城古 雅典 (水都環境) 動画像を用いたクレーン周辺の視差画像の統合手法の開発 ○風間小次郎・須崎純一(京都大学)、小林知生(NTTデータ) BIM/CIMデータで自動建設機械を運用する際の課題と解決策 ○中嶋道雄(若築建設)、井口重信(東日本旅客鉄道)、柳川正和(清水建設) 建設現場の施工管理を変革するデジタルツインプラットフォーム ○澤城光二郎・早川健太郎・星加夢輝(安藤・間) ミリ波振動可視化レーダーを用いたトンネル切羽モニタリング(現場実装に向けた検討) ○岩城英朗・西琢郎・多田浩幸(清水建設) 建設施工段階のCDEにおける共通情報モデル ○宮岡香苗・松下文哉(東京大学)、宮崎文平(三菱総合研究所)
15:35 - 15:55 土木情報学賞 表彰式	

第49回 土木情報学シンポジウム プログラム



2024年9月27日 (金)

第1会場	第2会場
<p>10:00 - 11:25 I-4 AI/データ分析③ 座長: 枘見 周彦 (JIPテクノサイエンス) 小規模データセットによる特定オブジェクトの色彩変換の深層学習: 歩道橋を事例として ○林楓華・山本義幸(愛知工業大学) 複数カメラ間の既知・未知判定による人物同定システムに関する研究 ○松村峻平(関西大学)、西田義人(金沢工業大学)、坂本一磨(公立小松大学) 機械学習を用いた色調補正機能を実装した人物同定に関する基礎的研究 ○田中超(関西大学)、西田義人(金沢工業大学)、坂本一磨(公立小松大学) 高解像度カメラを活用した 現場遠隔管理システムの構築と現場実証 ○泉翔太・中村泰広(鹿島建設)、有田真一(シャープ) 深層学習を用いた画像解析による人工計測システムと工程分析手法 ○三上大志・片村立太・北原靖之(鹿島建設)</p>	<p>10:00 - 11:25 II-4 CG/AR/VR 座長: 石内 鉄平 (宮城大学) 雲量を考慮した光環境再現による暑熱リスクの可視化手法 ○柴田涼矢・安室喜弘(関西大学) 非直角多重建物ポリゴンからの3次元建物モデルの自動生成 ○村瀬孝宏(中京学院大学)、杉原健一・沈振江(金沢大学) 設計図の自動展開による中国古代の3次元建物モデルの自動生成 ○杉原健一・沈振江・滕瀟(金沢大学) スマートフォン動画からの橋梁パラメトリックモデル生成に関する研究 ○上田奨士・星野隼人・戸田圭彦(JIPテクノサイエンス) GISの三次元建物モデルの形状とテクスチャの高精度化を目的として地上測量と側面写真を利用したモデル作成手法 ○久保寺貴彦・石井斐士(東洋大学)</p>
<p>12:30 - 13:55 I-5 リモートセンシング① 座長: 中嶋 道雄 (若築建設) 単眼カメラで撮影された画像を用いた撮影対象の位置特定手法に関する基礎的研究 ○武内颯恭・今井龍一(法政大学)、中村健二(大阪経済大学) ORB SLAMとステレオカメラによる建設現場のリアルタイム三次元地図作成 ○石黒龍之介・須崎純一・大庭哲治(京都大学) 平面の位置関係を用いたマーカレスARの補正技術に関する研究 ○加藤諒(京都橋大学)、北川悦司(阪南大学)、本間亮平(アジア航測) 歩行空間における人・ロボットのための3次元地図の整備に向けた検討 ○伊藤加奈・西條泰治(国土交通省)、宮辻和宏(パスコ) デジタル変調を用いる移動体通信における 電波伝搬特性 ○杉田尚男(八戸工業高等専門学校)</p>	<p>12:30 - 13:55 II-5 BIM/CIM① 座長: 澤村 修司 (山口県) IFCに基づく6D BIMモデルを用いた太陽光発電舗装の持続可能性評価の試み ○吉村光史・矢吹信喜・福田知弘(大阪大学) ロケーション・マーカーベース複合手法を用いたMR可視化システムの構築 ○中祖諒大・檜山和男(中央大学)、大原幸大(五洋建設) 橋脚の点群データを用いたエッジ強調によるワイヤフレーム生成手法に関する一考察 ○南李玟・中原匡哉(大阪電気通信大学)、塚田義典(麗澤大学) BIM/CIMモデルおよびUnityを用いた型枠工事における材料の数量算出 ○寺田健司・酒匂智彦・高見聡(鹿島建設) BIM/CIMを活用した降雨時における安全で円滑な交通流確保に向けた一考察 ○原田紹臣(三井共同建設コンサルタント)、武井千雅子(VR推進協議会)</p>
<p>14:10 - 15:35 I-6 リモートセンシング② 座長: 矢尾板 啓 (パスコ) 類似画像検索技術を用いた屋内での自己位置の推定技術に関する研究 ○山下翔太・中原匡哉(大阪電気通信大学)、塚田義典(麗澤大学) オープン形式のSAR画像を用いた都市域を含む浸水域の推定に関する一考察 ○浅野達海・今井龍一(法政大学)、中村健二(大阪経済大学) Suomi-NPP夜間光衛星画像による首都圏市街地間のCOVID-19の影響比較 ○関根望結・羽柴秀樹・園部雅史(日本大学) LバンドSAR衛星データを用いた令和6年能登半島地震により被害を受けた被害建物の評価 ○園部雅史・羽柴秀樹(日本大学) 地上型レーザスキャナを利用した軌道中心線推定の自動化 ○松下孝星・後久華穂(ジェイアール東海コンサルタンツ)、山本義幸(愛知工業大学)</p>	<p>14:10 - 15:35 II-6 BIM/CIM② 座長: 松本 裕樹 (CalTa) 3次元データを利用した共同溝の損傷伝達システムの提案 ○梅宮咲恵・窪田諭・安室喜弘(関西大学) 地上型レーザスキャナにより取得した点群の奥行き方向精度に与える影響要因の検証 ○芝寛・米山睦美・井口重信(東日本旅客鉄道) 三次元計測に基づく歩道の維持管理を目的とした新たな取り組み ○森石一志(大林道路)、鈴木啓祐(明石市)、富山和也(北見工業大学) 配筋3次元モデルから鉄筋加工までを情報連携させる配筋DXの取組み ○新倉里紗・石黒真聖(鹿島建設)、島田万璃(ベクトル・ジャパン) 構造物のブレイクライン抽出における断面変化点の形状変化量を考慮した結合手法 ○加藤諒(京都橋大学)、北川悦司(阪南大学)、村木広和(国際航業)</p>
<p>15:35 - 15:50 優秀発表賞表彰</p>	
<p>15:50 - 16:00 閉会挨拶 関本 義秀 (土木情報学委員会 副委員長)</p>	<p>2024年9月13日更新</p>